

第21回きんろうフェスティバル



発行所
国鉄労働組合長野地方本部
長野市中御所3-2-22
発行者 平山 芳夫
編集者 清水 孝次

2007年12月1日
第1446号

●国労加入を
大胆に訴えよう！



子供たちに人気のミニSL

十一月二十三日、恒例となった「きんろうフェスティバル」が長野市・城山公園で開催された。早朝に舞っていた雪も止み、ファンファーレとともに開会が宣言され、高橋博久実行委員長（県労組会議議長）の「働く喜び、生きていくことの喜び、平和、人権、環境問題などいろいろな問題を考え、語り合い、一日楽しもう！」とのあいさつで始まり、初冬の寒さの中、多くの家族連れなどが訪れ、今年も大盛況であった。

一九八六年の「国鉄まつり」から始まり、第二回から「きんろうフェスティバル」と名称を変え、実行委員会形式での開催となり、今年で二十一回を数える。国鉄闘争から始まったフェスティバルだが、回を重ねるごとに平和、人権、環境問題などを幅広く市民に訴える場として定着してきている。

今年も、労働、福祉、市民の各団体（二十一団体）が参加した。各テントなどで野菜や品物の販売をするとともに、平和、環境問題等を訴えた。

アトラクションでは、「ウルトラマンミニショー」に多くの子供たちが集まり、「お楽しみ大抽選会」には長い行列ができた。

国労闘争団からは、釧路闘争団の高橋勇次団長が釧路の味を持って参加し、長野の寒さに驚いていた。

高橋団長は、メイנסテージで行われた「トークショー」に出場し、二十年間の闘いの報告と「11・30大集会を成功させ政治解決の足がかりにしたい」と述べ「支援してくださる長野の皆様が元気な姿を北海道に伝えていきたい」と締めくくった。

地方本部のテントでは、

国労関係テント等 コメント

◆ミニSL（中南信支部）

今年はいつもとより小さいSLのため、スピードも出ず、乗車人数も限られてしまいご迷惑をおかけしています。

「今年も来たよ！」と毎年心待ちにしている方の声もあり、来年も喜んでもらおうと活力がわきます。

毎年SLをお借りし、運転もしていたでいる国労OBの山本さん大変感謝しています。（太田克彦委員長）

◆すいとん・わたあめ（松本地区協）

一昨日から今日のために準備をしました。地区協組合員からの野菜の提供を受け、勤務を終えた組合員・家族総出で野菜を切るなど、皆の協力がありました。

今日は、寒さが厳しいので用意した300食の完売をめざしています。わたあめは人気で列ができるほど好調です。

たくさんの人の笑顔が、明日からの闘いへの活力となります。（赤木勝事務局長）

◆餅つき実演・販売（車両所支部）

もち米100kg、25臼の餅つきをしました。

中南信から引継ぎ4年目となりますが、毎年楽しみにしていただき、お餅を手にして喜んだ顔に疲れがぶっ飛んでいます。

一生懸命お餅をつきあげ、売り上げも好調です。来年もがんばります。（鈴木英人教宣部長）

◆バザー（東北信支部）

国労OBの方から衣料品の提供を受けました。21回目ともなると、バザー用品がなかなか集まらず苦勞していましたが本当にありがたかったです。

各団体や組合員の協力により、多くの品物が集まりました。みなさんに感謝しています。闘争団への支援を訴えながら完売しました。（小松才之委員長）

◆おでん（貨物協議会）

昨日から、組合員総出で仕込んだ美味しいおでんです。

おでんを買うのを楽しみにしていられる方もいて、毎年なべ持参で買ってくださいませ。うれしいですね。

今日は、寒いので売上げも好調です。今年も完売します。（市川彰一貨物篠ノ井副分会長）



鉄砲汁を作る

釧路闘争団 高橋団長



車両所支部の餅つき実演・販売
組合員と家族が奮闘した

満額獲得を！総決起集会開催

十一月十二日、地方本部は国労長野会館駐車場において「年末手当要求実現をめざす！国労長野地本総決



起集会」を開催した。勤務を終えた組合員六〇名が結集し、不採用事件の解決！年末手当の要求実現！にむけ、客・貨一体で秋期・年末闘争を全力で闘い抜く決意を固めあった。夕方から降り出した雨が激しくなる中、原山執行委員の開会あいさつの後、平山委員長は、年末手当をめぐる情勢、JR内での課題と合わせ、不採用事件の解決に向け「11・23きんろうフェスティバル」の成功と「11・30大集会」への総動員、

一県一集会として十二月十五日県支援共闘会議総会を拡大して開催するなど、一日も早い解決に向け全力をあげる決意を述べた。

2007年年末手当の回答状況

会社別	本年度実績	対前年度比	支払日
東日本	3. 25	+0. 05	12 / 7
貨物	2. 00	+0. 045	12 / 7
東海	3. 00	+0. 05	12 / 10
西日本	2. 75	+0. 025	12 / 10

年末手当をめぐる状況について、貨物会社は林貨物協議会議長、東日本会社は粕尾業務部長からそれぞれ報告を受け、車両所、中南信、東北信の各支部より闘いへの力強い決意表明がされた。

白熱 家族会ボーリング大会

地方本部は家族会と共に、十一月四日長野市内において、ボーリング大会を開催した。当日は組合員、家族三十五名が参加し熱戦を繰り広げた。

ゲームは一人二ゲームを投げ、参加者の中には久しぶりにボーリングをやる人も多く、子供たちも六名が参加し、ストライクが出るたびに大きな歓声が上がった。

貨物会社は六期連続経営黒字にもかかわらず、社員は生活と健康が脅かされている。年末手当満額獲得に向け客・貨一体で闘うとの決意を全体で確認し、最後に平山委員長の団結がんばろうで集会を閉じた。

十一月十七日、豊野公民館で「長野以北の在来線をどう守るかを考える集い」が開催された。三村長野県交通政策課課長、永島在来

長野以北の在来線を守る集い

十一月十七日、豊野公民館で「長野以北の在来線をどう守るかを考える集い」が開催された。三村長野県交通政策課課長、永島在来

線を守る全国連絡協議会事務局長、佐藤国労長野地本書記長、石坂県会議員の四氏をパネラーに迎え、信濃町、飯綱町、長野市の住民など約六十名が参加した。国労からは地元組合員を含め十六名が参加した。

よる経営の著しい効率化や人員削減などの合理化との闘いが重要である事を指摘。在来線を守る闘いは政党や団体を越え幅広い運動を組織しなければならないと提起した。

その後、参加者全員のフリートークが行われ、四名のパネラーの一致した意見として、一九九六年の長野新幹線建設時の政府・与党合意（新幹線との並行在来線はJR東日本から経営分離される）の見直しや変更が必要ならば在来線の存続は非常に難しく、そのためにも住民が運動を組織し、国会や政府に圧力をかけていかなければならないと提唱、またJRにもきちんと要求運動を造ることが重要であることが指摘され、閉会した。

席上、佐藤書記長は分割・民営化から二十年を経た現在のJRの状況を克明に語り、安全で安定した輸送を確立するためには、JRに



- 【成績】（敬称略）
- 優勝 内川 良子
 - 準優勝 村田 彰
 - 第三位 西沢 将人
 - 第四位 太田千恵子
 - 第五位 小林袈裟雄
 - 第六位 西沢 伸江
- 子供の部
- 優勝 宮入 諒
 - 準優勝 山崎 園香
 - 第三位 酒井 悠

見事！Aチーム 長野地本 三連覇なる

～国労東日本本部マラソン大会～



三連覇（四度目）の優勝カップを囲む 長野チームの面々

11月10日（土）皇居で恒例の東日本国労駅伝大会が開催され、長野地本からは2チームがエントリー、昨年に続き吉江夫妻が個人マラソンに参加しました。当日は、朝から雨が降り最悪のコンディションでしたが、駅伝スタート時には奇跡的にも雨が上がり、気温も15℃くらいになり、走るには丁度良いコンディションになりました。

三連覇を狙うAチームは、ベストメンバーが揃わず苦戦が予想されましたが、アンカー勝負で見事逆転し、三連覇（四回目）を達成する事ができました。

また、Bチームも初の10位以内の8位に入り、長野チームの選手

層の厚さをアピールする事ができました。レース終了後は、東京駅八重洲口地下街で祝勝会を行い仲間の交流、団結をより一層深めました。来年は、A・B両チームのワン・ツーフィニッシュを目指して頑張りたいと思います。（轟 勝通信員）

第12回国労東日本マラソン大会成績（参加18チーム）

- 【優勝】 長野Aチーム 1時間16分43秒
- 【第8位】 長野Bチーム 1時間21分07秒
- 【区間賞】 5区 町田幸男 9分27秒



た。